

施設紹介・・・水質の守り番



日野川工業用水道では伏流水(川に浸透した水)を利用して水を送っていますが、もし万が一毒性のものがあった場合を想定して、浄水場の一角に池を設けています。

この池には鯉や金魚などを飼っています。

(毒見役として)頼もしい存在です。

夏場に次亜塩素酸という消毒(アオコ等を防止する物)を行いますが、その間は水を池に入れないようにして魚にも配慮しています。

これからも影の守り番として活躍してもらえるように大事に付き合っていきます。



企業局のDX推進機器の紹介(カルソー君)

令和6年度に実装したラジコン草刈機です。

特徴として、車体下側のカッターはエンジン駆動で、移動はモーター駆動なのでパワフルです。

夏の暑い日には、木陰から操縦できますので熱中症対策にもなり、除草作業も効率よく進めることができ、大変便利に使用しています。

集草が難しい(刈った草はバラバラになる)ため、草処分が必要な箇所は対策が必要です。

興味がある方は連絡していただければデモも行いますのでお気軽にお問い合わせください。



編集後記

このエ水だよりも第6号となり、ユーザーの皆様にも少しでも有益な情報提供ができるよう、試行錯誤しながら作成しております。

「10年ひと昔」と言われていましたが、今は1年経てばガラッと変わる世の中になりました、時代に遅れないよう頑張っていきます。

今後とも皆様に分かりやすい情報を随時伝えていく予定としておりますので、知りたいことや要望等をお聞かせください。

<メールアドレス:kigyokyokuseibu@pref.tottori.lg.jp>

お問い合わせ先

鳥取県企業局経営企画課 **0857-26-7444** (営業課)

鳥取県企業局西部事務所 **0859-26-0017** (施設管理)

鳥取県企業局西部事務所

日野川 工業用水道だより

第6号
令和7年3月



西部事務所から市街地を望む:R6.10撮影

ユーザーの皆様とともに

日野川工業用水道のユーザー並びに関係者の皆様におかれましては、日頃から事業運営にご支援を賜るとともに、突然の漏水事故による断水にもご理解頂き、心より感謝申し上げます。

工業用水は「産業の血液」とも呼ばれ、製造業などにおける生産活動に必要不可欠なものであり、企業局西部事務所としては安全で安価な水を供給することが重大な使命となっています。

日野川工業用水は昭和43年4月の給水開始から56年が経過し、耐用年数を過ぎた資産もあることから、老朽化による弊害(配水管からの漏水事故、取水施設の機能低下等)が毎年の様に発生しています。

早急に施設の改築が必要となりますが、抜本的な対策を行えば多額の建設費が必要となり、大幅な料金改定はユーザー様に大きな負担が掛かるため、負担が最小限になるよう、施設の延命化を行いながら、順次最小限の改築を行っていくこととしています。

通常の維持管理でも省力化を図るため、職員一同、DXを推進し上手く活用しながら、ユーザーの皆様にも納得していただけるよう適正な維持管理を行い、安心・安全な水を届けるよう努力してまいりますので、引き続きご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



鳥取県企業局
西部事務所長

鳥取県企業局西部事務所長 金田 孝典

日野川工水の漏水工事の令和6年度報告と令和7年度予定

令和6年度（令和7年1月末現在）は漏水事故が3回発生し緊急断水を実施しました。

また、皆様のご協力の上実施した計画断水により、予防工事を2回実施した結果、漏水対策の進捗が年間で7%アップし、全体の78%が対策済となりました。

令和7年1月1日に漏水事故が発生し、ユーザーの皆様へ多大な迷惑をお掛けしましたが、1月5～6日に無事対策ができました。ご協力ありがとうございました。

令和6年度実績（R7.1 未現在）

予防工事

R6.4月13～14日断水：米子市和田町

8月24～25日断水：米子市富益町

漏水事故対応

9月10～11日断水：米子市和田町

9月21～22日断水：米子市旗ヶ崎

R7.1月5～6日断水：米子市和田町

令和7年度予定

予防工事

5月17～18日断水：米子市和田町

6月下旬～7月上旬頃断水：米子市両三柳

本管布設替工事

6月下旬～7月上旬頃断水：米子市両三柳

※6月下旬～7月上旬頃は2つの工事を同日施工します



漏水状況



R7.1 漏水事故状況

管修繕状況

令和7年5月17日から（土）から18日（日）にかけて計画断水による予防工事を予定しています。

また、6月下旬から7月上旬頃にかけては、米子市両三柳で、計画断水と併せて米子市道改良にかかる本管布設替工事を予定しています。

ご理解・ご協力よろしくお願いします。

※計画断水で影響のあるユーザー様には、別途通知します。

工法紹介（大口径不断水分岐弁）

令和6年12月に米子市両三柳において、大口径不断水分岐弁の設置を行いました。

今後進めていく工水管更新工事の起点ともなる箇所です。

対象の区間には水を止める制水弁が無く、断水工事が出来ない箇所であったため、水を止めずに施工できる工法を選択し、新たに分岐弁を設置するものです。

管径が900mmと大口径であり、全国的にも珍しい工事で、特殊な機械を使用して施工を行いました。



管の外側にカバーを設置します。
車線規制を行い夜間工事で実施しました。



作業するための台を設置します。



管を削孔する機械を付けて作業中
大型のクレーンを使用しています



切った管です、見事に抜けました
水を通しながら切るので穴あきカッターです



切った部分に分岐弁本体を挿入します
慎重にセットします



完成です！

令和8年度から本格的に工水管の更新工事を進めていきたいと考えており、これからも進捗状況等の情報を、随時お伝えしていく予定です。